

筑波大学隔離ほ場現地調査結果概要について

平成17年8月12日
生命倫理・安全対策室

1. 日時 平成17年8月11日 14:00～16:00
2. 場所 筑波大学遺伝子実験センター模擬的環境試験ほ場及び温室（特定網室）
3. 調査担当者 文部科学省：土門専門官、橋本係員
 環境省：渡邊係員
4. 対応者 筑波大学：生命環境科学研究科 渡邊教授

5. 概要

（1）模擬的環境試験ほ場の確認

- 当該申請について、申請書に基づき模擬的環境試験ほ場（以下「ほ場」とする。）の設備（入口（フェンス）：図1及び図2、監視カメラ：図3、標識：図4、洗い場：図5、沈殿槽：図6、網：図7）を確認した。
- 入室者の管理は別途ファイル（図8）に記入して確認が行われていることを確認した。
- ほ場の鍵は入室者管理とは独立して管理室で行われていることを確認した。
- 当該申請において使用する予定の器具はほ場内の物置（図9）に保管されていることを確認した。
- ほ場内の区画において、現在のところ非遺伝子組換えユーカリが自然状態で栽培されていること（図10、図11）を確認した。

（2）温室（特定網室）の調査

- 当該申請において、第一種使用等を予定している遺伝子組換えユーカリが第二種使用等されている温室（特定網室）（図12～図14）の調査を行った。
- 遺伝子組換えユーカリが、温室内で生育されている様子（図15）を確認した。図15に示されたユーカリは栽培2年目であり、全長3m程度にまで育成しており、灌水を中止して3週間程度経過したものである。
- 温室（特定網室）内で発生した枯葉などについては、乾燥させた後（図16）に回収してオートクレーブで不活化している。
- 筑波大学において遺伝子組換え植物を栽培する際は、平成14年度から植物の種類毎・使用場所毎に作業従事者等管理簿を作成して、管理を徹底している旨説明を受けた。

以上

(参考)



図 1 : 隔離ほ場入口全体図

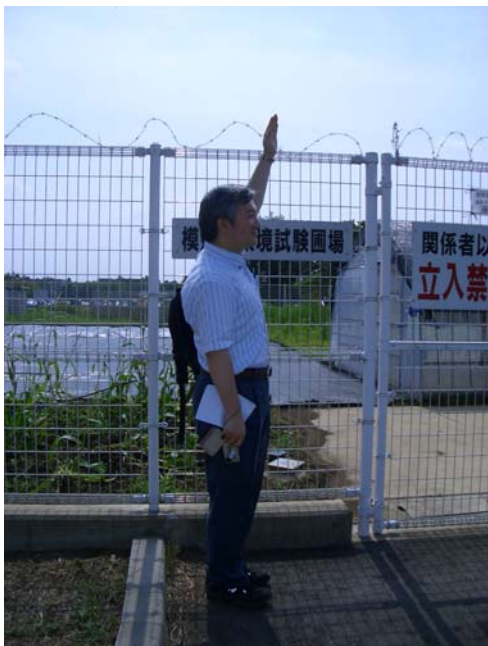


図 2 : 隔離ほ場入口



図 3 : 監視カメラ



図 4 : 標識



図 5 : 洗い場



図 6 : 沈殿槽



図 7 : 網

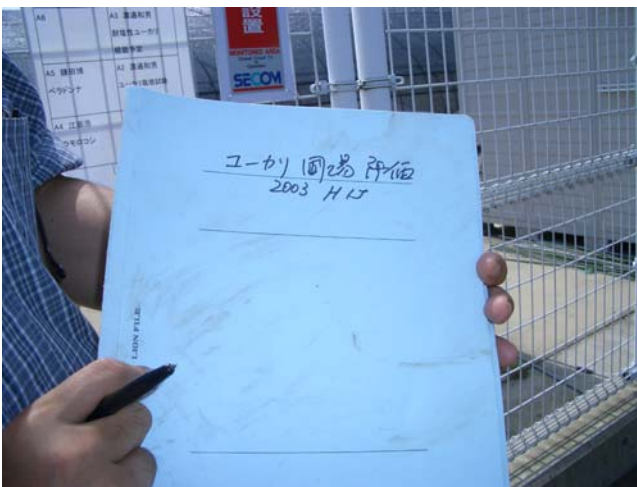


図 8 : 入室者管理ファイル



図 9 : 物置

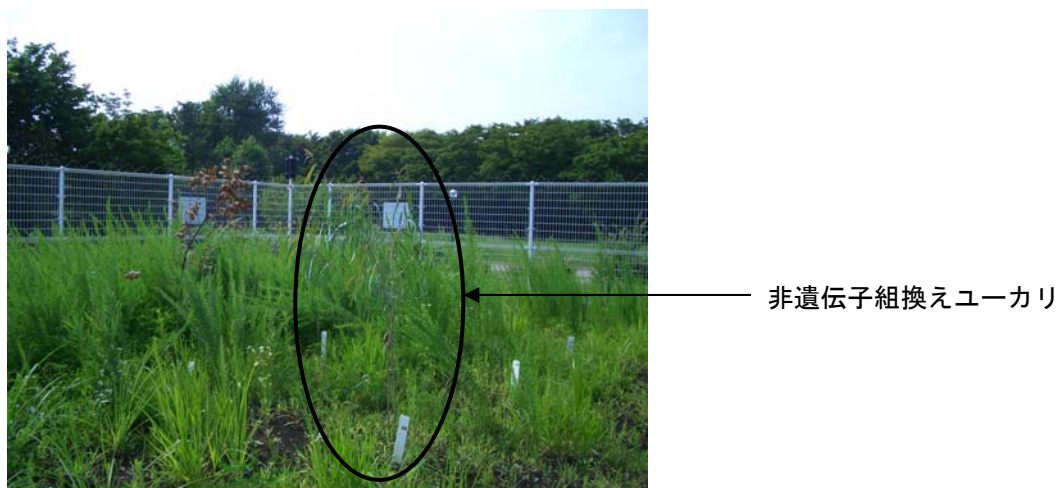


図 1 0 : 非遺伝子組換えユーカリ



図 1 1 : 非遺伝子組換えユーカリ（拡大図）



図 1 2 : 第二種使用等実施温室



図 1 3 : 第二種使用等実施温室標識（拡大図）



図 1 4 : 第二種使用等実施温室内ユーカリ



図 1 5 : 温室内ユーカリ



図 1 6 : 回収したユーカリの枯葉